

令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立宮北小学校
校長氏名	道本 美月
作成日	令和2年 3月13日

1 教育目標

心身ともに健やかで、たくましく生きる子供の育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・全国学力・学習状況調査、県学習到達度テストの正答数が県平均を上回る・「わかる授業・子供主体の授業の実践」(児童アンケート90%)	・「学校が楽しい」と感じる(児童アンケート90%) ・全校活動を通じた高学年リーダーの育成と仲間作りをおこなう。 ・「上級生はやさしい」(児童アンケート90%)	・スポーツテストの結果が全てにおいて県平均を上回る ・食後の歯磨きチェックをおこなう ・生活習慣に関するアンケートや学校評価アンケートでの「早寝・早起き・朝ごはん」(児童・保護者アンケート90%)	・「地域や保護者とつながりを大切にし、その力を学校教育に取り入れている。」(保護者アンケート90%)・「HP・学校、学級便りなどで保護者に教育活動を伝えている。」(保護者アンケート90%)・「すすんであいさつする意識を高め、あいさつの輪が広がっている。」(保護者アンケート85%)
重点目標【P】	◎教員の指導力の向上 ◎子供同士の学び合いの充実 ・家庭学習の充実 ・補充学習の充実 ・個のニーズに応じた学力の充実	◎全教育活動を通じて道徳教育・人権教育の充実 ◎「全校活動」を通じた仲間作り・読書活動の推進	◎持久力・体力向上の推進 ・「全校活動」を通じた基礎体力の充実 ・「歯ブラシ指導」と「睡眠教育」の推進	◎コミュニティスクールの積極的な運営と広報活動◎学校からの積極的な情報発信◎幼保連携・小中連携の推進◎あいさつができる子供の育成
取組の状況【D】	・全教員が研究授業実践を実施 ・「聞く・話す・書く」力の育成について研修実施・学力テストの結果を踏まえた研修と授業改善・支援を必要とする児童への共通理解	・昨年から継続して夏季休業を利用して人権研修を実施。 ・6年生を中心にした「全校活動」を充実と仲間意識の醸造。	・スポーツテストの実施方法について全職員で再度共通認識をもつようにした。 ・「全校活動」でのドッジボール大会や縄跳び大会を通じて基礎体力作りにつながるよう意識出来た。 ・「歯ブラシ指導」の時間に音楽を流して啓発したり、保健委員会を利用して放送で食後の歯磨きを促すようにした。	・学校だよりの定期的な発行 ・HPの定期的で迅速な更新 ・幼保連携、小中連携
取組の成果と課題【C】(評価)	・全教員が研究授業を実施し、授業改善へつながった。 ・4年5年で実施した県学力到達度調査では県平均を大きく上回った。 ・特に5年生の活用力の力が高かった。 ・児童アンケート「毎日の勉強がわかる」が、88%で指標の90%をほぼ達成できた。	・読書タイムの充実や図書室の環境作りにより成果が見られた。 ・低学年で「読み聞かせが楽しい」(児童94%)、高学年で「読者はいいものだ」(児童89%) ・「学校が楽しい」(児童アンケート86%)で「楽しくない」と答えた児童への関わりを工夫した。 ・「上級生はやさしい」(児童97%)を達成できた。	・スポーツテストを活用して、子供たちの体力向上のために意識を高め、「全校活動」の基礎体力づくりにつながることができた。 ・保健指導での歯ブラシ指導と今年度は「睡眠」の大切さについても啓発することが出来た。	・コミュニティスクールの積極的な運営で学校が活性化した。 ・「地域や保護者とつながりを大切にし、その力を学校教育に取り入れている。」(保護者アンケート90%) ・「HP・学校、学級便りなどで保護者に教育活動を伝えている。」(保護者アンケート90%) ・「すすんであいさつする意識を高め、あいさつの輪が広がっている。」(保護者アンケート85%) ・「気持ちの良いあいさつができる」(児童87%)
改善方法【A】(次年度に向けて)	・放課後学習をコミュニティスクールにも位置付けることはできなかったが、2年生の「九九学習」の補充を行うことが出来たので、学生ボランティアの活用と合わせて考えていく。 ・家庭学習について各学級での取り組みを全体で共有しさらに「毎日の勉強がわからない」をなくせるような方策を考える	・来年度は人権教育を通じて児童、保護者、地域へ人権啓発につながる取り組みを更に推進したい。 ・宮北保育所との連携の一環として高学年の児童による読み聞かせ活動等を実施したい。	・子供たちの生活習慣の見直しを図るため、保護者へのスマホ教室開催や6年間を通しての「ゲームやスマホ」について正しい使い方を情報モラル教室等で周知していくように取り組む。	・今年度は概ね指標が達成できた。 ・来年度はさらに地域との連携を組織化して、全教員で取り組みの共有を図る。 ・「あいさつ」の項目について保護者、児童への啓発の仕方を工夫する。 ・アンケートについての精選をさらにに行い、成果が分かるようにする。

3 その他の課題